

◎知事(蒲島郁夫君) まず、阿蘇については、昨年9月の世界遺産暫定一覧表記載案件の選定結果によれば、暫定一覧表記載の前段階のランクに位置づけられました。文化庁から、文化財の指定を含めた保護措置への取り組みが不可欠であるとの課題が示されております。阿蘇の広大なエリアを対象とする課題ではありますが、地元市町村とともに条件整備を進め、4カ年戦略期間内の平成23年度までに暫定一覧表記載を目指したいと考えております。

次に、九州・山口の近代化産業遺産群については、鹿児島県が事務局となって、関係県知事、市長により構成される世界遺産登録推進協議会を中心に、精力的に推進しております。平成23年度には、ユネスコに提出する推薦書の作成に着手する予定です。

また、長崎の教会群とキリスト教関連遺産については、地元自治体としては、平成23年度の登録を目指しておりましたが、文化庁からは厳しいとの指摘を受けております。そのため、まずは、世界遺産登録に向けた条件整備として、本県の関連遺産が文化財国指定を得られるよう地元自治体と進めてまいります。

世界遺産登録までには長い道のりを必要としますが、阿蘇を初めとする本県のかげがえのない文化遺産が世界的な評価を受け、県民の誇りにつながるよう、夢実現に向けて一つ一つ着実に推進してまいりたいと思います。

〔瀧上陽一君登壇〕